

第2回会合の議論の整理

1. 第2回検討会で確認された事項

①簡易測定

- 簡易測定はNaI(Tl)サーベイメータによる測定を基本とすること
- バックグラウンド値を差し引いた正味値を評価すること
- バックグラウンド値の測定は被測定者の大腿部を基本とすること
(ただし、着衣の汚染がある場合の対応を考慮する)
- 測定部位となる首周りは拭うなどの簡易除染を行うこと

②詳細測定

- 詳細測定はスクリーニングレベルを超えた者を対象に行うことを基本とすること

③判断レベル

- 簡易測定から詳細測定に移行する際の判断レベル（甲状腺吸収線量）については、測定の実施に際しての不確かさを考慮して、国際機関が示す線量基準等を参考に最低限守るべきレベルを確保しつつ、できるだけ低いレベルを目指すこと

2. 第3回の検討会で検討すべきとされた事項

①開発された詳細測定器の第三者評価の結果について

②現状の詳細測定機器（甲状腺モニタやホールボディカウンタ）の配備状況

③スクリーニングレベルを検討する際に考慮すべき要素のまとめ